

花水木だより

第 101 号 令和 5 年 8 月
千種区鯉城会会報
発行／花水木鯉城会



< 花水木鯉城会の輪を広げよう >

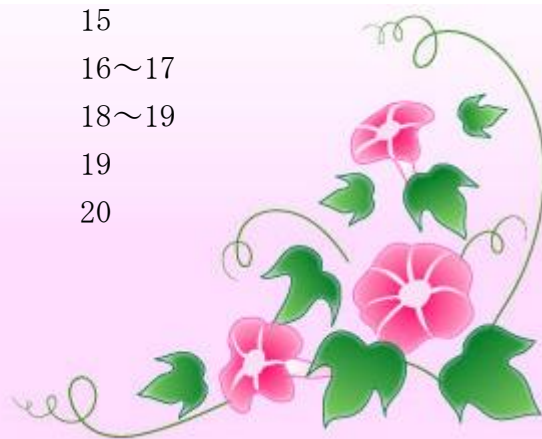
お知らせはこちらから⇒





目次

目次	2
巻頭言「趣味は無くてもいい？」 社会奉仕委員長 檜澤一也	3
地域長会議報告	4～5
地域会だより 今池	5
振甫/若水	6
城山/東星	7
千種台/千種	8
令和5年度新入会員紹介	9～11
37期生への地域ミーティング開催	12
地域会交歓ボウリング大会	13
グラウンド・ゴルフ交歓会へのお誘い/ 長生き健康体操と防災マメ知識講座へのお誘い	14
イオン・幸せの黄色いレシートキャンペーン	15
社会奉仕活動近況状況	16～17
今年の「コーヒーサロンサークル」	18～19
編集後記	19
今後の行事予定/次号予告	20



表紙の言葉

「ひまわり」



渡邊 武通 (19期 美術)

キク科の一年草で、真夏の太陽がよく似合う花としてよく知られています。

本来なら、真夏の太陽の下、青空をバックに撮影した写真をお届けしたかったのですがチャンスに恵まれず、出来栄えの良くない作品です。撮影場所は、東山植物園の園内です。

巻頭言



「趣味は無くてもいい?」

社会奉仕委員長
檉澤一也 (31期 生活B)



趣味の多い人は、仕事をリタイアした後も時間を有効に使うことができるし、新しいコミュニティに参加しても友人を作りやすいし、老後の生活が豊かになるので、仕事ばかりしていないで、長く付き合える趣味を持って、とされています。

私もそう思い、仕事はそこそこに、趣味に時間を費やしてまいりました。「無趣味だ」と言っている人には「何か始めたら?」などと勧めたこともありました。

ところが、“趣味についてこういう見方もあるのか”とビックリ仰天した、新聞のコラムが有りました。(朝日新聞6月30日“耕論”ノンフィクション作家・高橋秀実)

内容はこうです。『趣味が無いほうが相手の話に素直に感心でき、相手を立てることができる。下手に趣味を持っているとつい喋りたくなり、ついでに蘊蓄を述べたりして他人に迷惑。同じ趣味の場合、どうしても良いことで張り合うことになり、素直なコミュニケーションの邪魔になる。習い事などはできてしまったら終わりなので、“できない”ということを楽しんで味わっているのだ。つまり、趣味とはどう味わうかその味わい方である、と言える。なので(趣味の無い人は)無趣味を味わえばいいのであって、特別なことをしなくても良い』なるほどそう来ましたか。

何か趣味を持たないと人生は暗い、と焦っている方には力強い応援演説ですね。

趣味の効用は前述の他に、その趣味のために使う用具、道具との“出会い”が有ります。一つの目的のために、長い時間をかけて研ぎ澄まされた道具には“萌え”ます。私の場合、萌え道具に興味を持ち、それを使いたいがために始めた趣味がいくつも有ります。

一例が水彩スケッチです。画材屋で初めて携帯用の固形水彩セットを見た時“こんな魅力的なものがこの世に有るのか。これを試さずには死ねない”と思いました。

手に入れても眺めているだけでは使ったことになりませんので、外に出て水彩スケッチをすることになりました。こうして始めたスケッチは今でも“趣味”として続いています。

メカニカルなスピニングリールに惚れて始めた投げ釣り、スティックの操作フィーリングにしばれて始めたラジコン飛行機操縦など、動機は同じです。



これらの素晴らしい道具との付き合いは、趣味の無い方には想像できないであろう私の喜びです。たとえ素直なコミュニケーションの邪魔になろうと、更なる趣味に色気を見せる私です。結論＝趣味は有った方が良い

令和5年度 第1回地域長会議 報告

日時 令和5年6月27日(火) 15:00~17:00
場所 千種区社会福祉協議会 1階 研修室
司会 総務委員長 高橋 満理 記録 会計委員長 飯田 蓮子



小松会長の挨拶で会議が始まり、続いて新任の地域長・地域幹事からの自己紹介の後、7名の地域長から、各地域会の活動報告、課題などの発表が行われました。

今池 福田地域長 計画に基づいて、楽しく活動できています。会員さんの参加も得ています。

振甫 大村地域長 振甫地域会と若水地域会が、連携して行事を実施しています。課題は、清掃活動に参加する人が決まっている事、会員の減少が続いていることです。

若水 山本地域長 ライングループを立ち上げました。65%の会員がクリア、連絡がスムーズになりました。行事に参加しない方の自宅訪問を実施しています。会の行事でマジックやハーモニカ演奏を実施、ロコミで参加される方が増えました。なお、「コーヒーサロン花水木」用の歌集を10部作成しました。必要な地域会は活用してください。社協の研修室に置いてあります。

城山 木村地域長 1年以上、地域会独自のオリジナルイベントに取り組めていませんでした。この為、呼びかけや訪問で、ランチ会への勧誘を行い、8名の参加がありました。引き続きイベント参加者が増える様に努力します。

東星 木下地域長 高齢者が多く、出かけるのが難しいので、ランチ会を行っています。予定は早めに連絡して、スケジュールを立てて頂ける様にしています。以前は50名ほどの会員がいましたが現在は26名です。

千種台 福島地域長 3名の退会、高齢やシルバーカレッジに通っている方があり、年々会員が減ってきています。事業計画をしていますが、同じ顔ぶれになるのが残念です。

千種 長谷川地域長 守山区と名東区している地域。今春、会員の皆さんで香流川の緑

道を散策。その後、ランチ会を開催。桜が見事でした。
鯨城会の活動に参加したり、千種台地域会との合同事業を計画的
に取り組んでいます。

自由に発言 フリートーク：

- ・10年ほど前から地域会活動が始まりました。同じ組織で良いのか、検討が必要です。
- ・高齢化が進んで、鯨城学園の在校生の平均年齢も70歳を超えています。地域会の在り方も新しい案を考える等、プロジェクトチームを作る事も必要です、今後、運営員会で考えていきましょう。



会議の様子

小松会長から地域長の皆さんに、お願いがありました

どこの地域会も会員減少、高齢化の問題を抱えています。鯨城会全体の課題ですが、花水木鯨城会では、昨年来、鯨城学園在校生の皆さんに、卒業後の花水木入会ご案内、花水木行事への参加呼びかけ、最新情報の提供を行っています。おかげで、今回34期の皆さんの多くの入会を頂きました。引き続き37期生（学園2年生）38期生（学園1年生）に対して、活発な花水木鯨城会の活動状況を伝え、生きがいと、楽しさを私達と共有してほしいと熱望していきます。地域長、地域のみなさんの協力お願いいたします。

地域会だより



今池地域会

地域長 福田 由美子 (28期 福祉)



千石・千種・内山の3学区の地域会です。本年度は、新入会の34期生1名を含めて27名（女性10名・男性17名）でスタートです。先輩方の温かい励まし・応援を受け、会員の皆様のご協力・ご支援もあり今池地域会は、顔の見える関係でいられると思っています。

年4回の花水木だより配布を兼ねての昼食会で過ごす会員の皆様との交流、誰でも高齢になり衰えもありますが、意欲的に自分の居場所を見つけ楽しみを増やす時間を過ごされているお話を伺う度に、毎回「あ～とてもいい居場所である」と思える時間を過ごすことができます。好きな幸せ時間です。昼食会以外には揃って活動は中々できていませんが、花水木鯨城会での活動には、積極的に参加協力をして頂いていることに感謝をしています。グループ長3名、宅配者4名と運営委員4名の運営委員会との橋渡しで、益々活性化を目指したいと思っています。



振甫地域会

地域長 大村 悦郎 (30期 生活A)



拝命してわずかな間に、地域長とは、いかに楽しめる行事を創案するか、そしてボランティア活動を含めて、いかに多くの皆様に参加頂くようにご案内するか、本当に気を遣う役目であることを痛感しています。

そして、全体行事がコロナ禍で控えられてきた現在、比較的まとまり易い単位である地域会は、皆で楽しみを共有して親睦を深め、永く会員を継続して頂く上でも、大切な役割を担っているように思っています。

地域会もここしばらく若返りが期待できず、皆同じように年齢を重ねて行きます。そこで行事に惹きつけるものは何か。ハードな運動でなく、ほどほど気分転換になり、語り合う場があって、見ても楽しい、そしてそれが歴史物の見学であれば興味も湧く。美味しい物が付けばさらに嬉しい。限られた地域内でもなかなか計画に苦労しそうです。

より多くの皆様に参加して頂けるよう、お誘いする上で日頃のコミュニケーションは大切です。これまで以上に行事に参加させていただきますので、その折りには今まで経験された催しの感想やお気に入りの趣味など是非お聞かせ下さい。

若水地域会

地域長 山本 一 (23期 生活A)



若水地域会は、会員数 37 名（高見学区 28 名、春岡学区 9 名）で構成されています。当地域には、ユリの名所で知られる「千種公園」、その近くには「すいどう道緑道」等もあり、自然環境が豊かです。

年間行事等としてランチ会 4 回、公園清掃、社会見学（振甫地域会との合同行事）、春のお花見、紅葉散策等を実施しています。

ランチ会では、昨年より食後にマジック、ハーモニカとウクレレの伴奏に合わせて歌ったりして、楽しいひとときを過ごしています。今年度から宅配者の負担を少なくするため、若水地域会ライングループを作り（37 名中 18 名）ランチ会案内、行事案内等はこのライングループを活用しています（この他に 5 名 7 はパソコンの E メールで送信し、その他は宅対応）。なお、「花水木だより」、「鯉城かわら版」等はランチ会で席上配付（ランチ会欠席にしています。ランチ会、行事等参加者がやや固定化しているので、声を掛け合って気軽に多くの方に参加していただき、会員の皆様から「楽しかった」と言ってもらえるような楽しい地域会を目指したいと思います

城山地域会

地域長 木村 達哉 (31期地域B)



城山地域は、地下鉄東山線の池下駅～本山駅に沿って東西に位置し、田代学区と見付学区からなり、織田、徳川ゆかりの、史跡や名刹、揚輝荘はじめ文化財が多く見られる地域です。

本年度の新入会員は1名、会員数は昨年から4名減の39です(男性30名、女性9名)。

昨年度は、コロナ禍の影響から目立った活動は出来ませんでしたが、少しずつ活動を再開していきたいと思っています。

今年度の計画：

1. 花水木鯰城会の行事への参加
2. 社会見学、食事会

など、魅力ある地域会イベントを実施します。

会員の皆様から、「楽しかった」と言って頂けるような地域会を目指していきます。



全国の若者に大人気のパワースポット城山八幡宮

東星地域会

地域長 木下幸紀 (25期 地域)



東星地域会は令和5年新年度の集いを4月24日(火)に、千種駅前のメルパルクで開催しました。会員数は26名(うち夫婦会員が1組)で、新入会員2名を迎えましたが、往時に比べると半減という状況です。

当地域会の課題は他の地域会も同様と思いますが、会員数の減少ならびに地域長や宅配担当者など、執行部体制のなり手不足です。特に、後者は地域会の存続に関わりますが、適切な打開策が見いだせていないのが実情です。

当地域内には「平和公園」、「東山公園」があり、各々一万歩コースが設定されているなど、緑に恵まれた自然環境が備わっています。また、千種スポーツセンターもあり、屋内プール(温水)や種々のマシンを備えたトレーニング室を低価格(特に、高齢者)で利用できる環境にあります。

皆さん、この恵まれた環境を活用することにより、ストレスを解消するとともに健康を維持し、楽しい毎日を実現しましょう。

千種台地域会

地域長 福島 好明 (30期 文化A)



当会は、千種区の北東部に位置し、山林原野を戦後の住宅難で一挙に団地造成がなされ、誕生した新しい地域です。

2小学校区からなり、自由が丘小学校は、昭和35年に田代小学校を母体として生まれました。隣接するグランド下の調整池は、江戸時代の溜池、望来池（もうらいいけ）を利用したものです。富士見台地区は、江戸時代尾張藩の御料林で、冬場には富士山が望めた處からその名を言われてきました。小学校は上野小学校から昭和37年に開校しました。千種台中学校は、

城山中学校から37年に分離、独立しました。2小学校区は、住民数、世帯数ともに、自由が丘1：富士見台2の比率で、当会の会員数も、ほぼ1対2です。戦後造成の団地は老朽化で建て替えが進み、新しい建物に変わりつつあり、丘の上の街も顔が変わろうとしています。

加齢による、保守的性向に陥らず、生きる事を旨として、諸行全般に当たりたいものです。

千種地域会

地域長 長谷川 源 (31期 福祉)



3月27日(月)に恒例の「香流川かなたがわのサクラ見物」を地域会の人達と行いました。新屋敷橋の南で集合し、名東区の中島橋辺りまで桜並木を歩きます。香流川は長久手市に広がる丘陵の三ヶ峯きみがみを源流に持ち、名東区から千種区に流れ、河口で矢田川と合流し、そこからさらに庄内川と繋がり、伊勢湾に注ぎます。歩きながら川の中を覗くと石亀の甲羅干しや水鳥の群れや沢山の魚が泳いでいます。満開のソメイヨシノの花房を堪能し、近くの寿司屋でランチを食べながら歓談しました。

千種区の花は「アジサイ」ですが、「茶屋ヶ坂公園あじさい園」は6千株のアジサイが6月初めに見頃で、私も平和堂ラジオ体操会の帰りに観に行きました。見事な咲きっぷりでした。そのそばの階段を上った辺りを7月2日(日)に清掃に行きます。清掃の後、近くの喫茶店でモニングコーヒーを地域会の人達と飲むのが楽しみです
今年の茶屋ヶ坂アジサイ公園→



新入会員（34期生）の皆さんを紹介します

小松会長より新入会員の皆さんへの言葉 「習うより慣れよ」

34期生の皆さん、花水木鯨城会への入会おめでとうございます。花水木鯨城会は学校ではありません。営利を目的にする組織でもありません。会員の皆さんが自己を高め地域活動を通して、地域に貢献する事を目的とした組織です。人から指図されて動くようなことは身になりません。鯨城学園就学の二年間を基礎にして、自らの意思と責任で行動することが肝要です。



孔子の論語にある「三十而立、四十不惑、五十知天命、六十耳順、七十従心」。私たちは六十にして何を聞いても動じなくなりました。また七十にして心の赴くままに行動しても道理を外さなくなりました。何事も経験です。「習うより慣れよ」の精神はとても大切です。

青野 一夫 （34期 地域A）



どういう訳か、鯨城学園に4年間も在籍して、この春卒業致しました。修学旅行もなく、いろいろな行事もなくなった4年間でした。同級生は、次々と退学してゆき、残った数少ない仲間に誘われて、花水木鯨城会に入会いたしました。当初、入会する気もなかったものですから、入会の説明会にも参加しておらず、一体何をやる集まりなのかと、戸惑いながらの入会でした。仕事を離れて、だいぶ経った時、皆と一緒に何かをすることが苦手に「なっていることに気が付き、どう係わっていこうかと悩みました。しかし、色々な方と接触するうちに、少し動いてもいいのではないかと感じるようになっていました。学園では味わえなかった暖かさを感じ始めています。これからも、一生懸命、楽しんでみようと思っています。よろしく願いいたします。

尾崎 修子 （34期 国際B）



地域の有志で、5年前に、町内にシニア会発足、会場も無料で提供して頂き、町内協力のもと、現在に至っています。ただ、コロナから、出席者が減り、また歳重ねて、出席者が限られて、少し淋しいなあと、感じる今日この頃です。在学中、河村市長さんとお逢いしますと、いつも、「卒業して地元に戻ったら、パス使用して、地元で活動してください、………」と。後日、花水木の活動紹介に出かけ、諸先輩方のご活躍、行動力に接し、圧倒されました。いつも笑顔が絶えない、なごやかな時間の、ここちよい流れ、感じていました。皆様にお世話になるばかりと、存じます。よろしく願いいたします。

梶川 紀子 (34期 音楽 A)



年を重ねても、若い人に共感してもらえるように、様々な知識を得て、沢山、話が出来ないものかと、近頃考えます。私達、鯨城学園 34 期生は、コロナの関係で、クラスは3分の1、クラブは4分の3になって卒業しました。私の所属した「マジッククラブ」は現在も定期的に力を合わせ活動し、ボランティア活動にも取り組んでいます。私は、今年「シルバーカレッジ」に入学致しました。ホームルームの時間に、まだ経験のないマージャンを選択しました。仲間に教わりながら、経験を積んで楽しんでいます。これから、周りの人に心配をかけない様にしたいですし、色々な方の心遣いに感謝をしながら、幸せを感じることでできる日々を過ごしていきたいです。

加藤 明美 (34期 地域 A)



2019年4月の、鯨城学園 34 期生入学式で、河村学長から、「2年後の卒業時には、鯨城会に入り、ボランティアで活躍する様に」と激励を受け、「是非、入会しよう！」と、意気込んでおりました。しかし、その後のコロナ禍、2年間の休校があり、4年後に卒業できた時には、自分の周囲に、いろいろな変化がありました。家族に介護が必要になったり、近くに住む孫の面倒を見なければならなくなったりと、今では、自由に使える時間が殆ど無いのが実状ですが、同じ千種区内に住む、鯨城学園 OBの方々と、これから先の人生、繋がりを持てたらと、考えております。よろしくお願いいたします。

白川 すみ子 (34期 地域 A)



再入学前の 32 期では環境専攻でした。千種小学区に居住していますが、小さい頃よりスポーツ好きで、ソフトボール、インディアカ、ゴルフ、スキーと楽しむことができましたが、今はレクバレーを週 2 回やっています。また、鯨城学園では水彩画クラブでしたので、引き続き、好きな水彩画を続けております。私の絵が最近の「鯨城誌」の表紙(藤の花と名古屋城)に掲載され、大変光栄でうれしかったです。花水木鯨城会は、皆さん元気に活動されていて、楽しそうでもあり、多くの方々との出会いもあり、有意義な時を過ごさせて頂いております。来年の 3 月まで、学園のサポーターとして、37 期の方々とホール授業を受けているご縁で、後輩の顔が見られてうれしい限りです。時折、他区の活動の様子を小耳に挟みますが、花水木鯨城会は運営など、先輩の皆さんがしっかりされていて、なんだかうれしい限りです。

塚本 利夫 (34期 国際 A)



当初、多くの会議に多少戸惑いましたが、どの会議も出席された皆さんが積極的に建設的意見を述べられていたのが印象的でした。特に、その概要を写真で、その日に Web に Up され、即刻閲覧可能なのは、インパクト十分な連絡方法と実感しております。次に現在まで、茶屋ヶ坂/鹿子/鶴舞公園のクリーンキャンペーン、デイサービス/コーヒーサロン/千種児童館行事でのボランティア活動に参加させて頂きました。ほぼ 45 年間、仕事一辺倒で、ボランティアの経験皆無の小生は、先輩諸氏の懇切丁寧なご指導のお陰で、貴重な体験になりました。特に驚いたのは、このサービスを利用する 9 割は女性だったことで、この辺り、高齢の男性には認知機能保持の観点からも、もっと外出しての社交性が必要と痛感しました。

葉山 彰 (34期 園芸)



鯉城学園では「園芸科」で、農園での畑仕事、教室での苔玉作り等、良い仲間に出会って楽しい勉強をさせて頂きました。クラブは最後の 1 年間は「陶芸クラブ」に所属しておりました。陶芸は初めての経験でしたが、仲間に恵まれ大変に楽しい活動を続けることが出来ました。今も「楽陶館」での研究コースに通っています。陶芸クラブの仲間の 1 人が現在広報委員長の大澤さんで、そのご縁か、現在、広報委員を拝命しております。同好会は「生け花とお茶」(柴波代表)に入会させて頂きました。月に 1 回、美味しいお抹茶を頂き、柴波代表から楽しくお花の生け方をご指導頂いております。お陰様で毎日、元気に忙しく飛び回っております。会の行事にも出来る範囲で楽しく活動させて頂きたいと思っております。宜しく申し上げます。

森川 民雄 (34期 地域 B)

今回はご本人からのご紹介記事を頂けませんでした。入手できましたら次号にでも掲載予定です。

上記でご紹介の各位には早速に下記の運営委員としてご活躍頂いております。

氏 名	所属運営委員会	専攻	クラブ	学区
青野 一夫	総務委員	地域 A	郷土史	振 甫
白川すみ子	総務委員	地域 A	水彩画	今 池
加藤 明美	社会奉仕委員	地域 A	重要文化研究	振 甫
塚本 利夫	社会奉仕委員	国際 A	英会話	振 甫
尾崎 修子	行事委員	国際 B	将 棋	東 星
森川 民雄	行事委員	地域 B	旅 行	城 山
葉山 彰	広報委員	園芸	陶 芸	東 星
梶川 紀子	会計委員	音楽 A	マジック	若 水

37 期生対象 地域ミーティング開催

総務委員長 高橋 満理 (30 期 環境)



↑ デイサービス実務見学

現場体験の後は、社協の職員さんから「生きがいについて」のお話がありました。90歳の三浦雄一郎さんの生き方を紹介されていました。ボランティアにも選択肢が沢山あるとお話していらっしやって、押し付けでない話し方に好感を持ちました。2日とも「コーヒーサロン花水木」は開店していて、そこはギターやハーモニカ演奏を聴いたり、歌を歌ったり出来る楽しい人気の場所です。37期の皆さんも参加できますよ。最後に花水木鯨城会の活動を、パワーポイントを使って説明させて頂きました。

↓ 花水木 Web の説明



令和5年6月15日(木)と16日(金)の2日わたり、鯨城学園37期生を対象にした地域ミーティングを開催しました。地元で一緒に活動してくれる仲間探しです。2日に分けて開催しました。開催場所の千種区社会福祉協議会の研修室には、なんと34名が集まってくださいました。感激です。まだ37期生の学生さんです。朝の9時30分から11時30分まで、熱心にお付き合いくださいました。卒業後の進路の事をもう一生懸命、考えていらっしやるのでしょうか。この日は、現場で私達がやっている事を見ていただく事にしました。現場体験です。デイサービスで私達がやっている事として、利用者さんに朝一番、まずお茶を出します。冷たい麦茶も作っておきます。最後には濡れている髪をドライヤーで乾かします。私は怒られた事があります。ドライヤーの温度が高かったのか、「熱い！」と手でドライヤーを払われました。こんな事もありました。利用者さんが椅子からさっと立ち上がったので、思わず腕を持ってしまいました。決して体に触れない様に言われていたのに、何でも難しいものです。



↑ 社会福祉協議会活動紹介

花水木鯨城会の組織や委員会、そして14ある同好会の活動内容を、スクリーンを使って紹介しました。コロナで鯨城会の活動は中止も多かったと記憶しています。しばらく元気がありませんでした。さあいよいよエンジン全開です。今日の地域ミーティングはどうでしたか。やる気が出てきましたか？ 来春は仲間も一挙に増えると期待しています。皆さん、一緒に活動していきましょう。

地域会交歓ボウリング大会

行事委員長 南 清貴 (31期 園芸)

7月10日(月) 計画されていた「花水木鯨城会ボウリング大会」が、今年から会場変更した「星が丘ボウル」にて10時から12時20分まで開催されました。



会場の「星が丘ボウル」は60レーンと昨年までの会場の約3倍で、フロアが広く、明るく活気が感じられる中、参加者全員による準備体操後、小松会長の始球式を皮切りに、ボウリング全盛時代を謳歌してきた総勢32名(男性19名・女性13名)での熱戦が繰り広げられました。

昨年から女性活躍の大会を目指して、レディースハンディキャップ特典を設けましたが、その結果、個人賞の優勝は永井静子さん、同2位は榎澤征子さんが受賞しました。

地域会対抗は、永井さんを擁した「千種地域会」が優勝を果たしました。準優勝は、「今池地域会」。3位は小松会長を擁する「城山地域会」という結果でした。

コロナも以前より落ち着き、インフルエンザ並みの5類に引き下げられた関係で、マスクをしていない人も増えて、息苦しさから解放された喜びを感じているのは私だけでしょうか。



↑ レディース・ストライカー続出



↓ 選手の他に企画スタッフ・サポーターも約10名



鯉城会主催の第22回グラウンド・ゴルフ交歓会が下記の要領で開催されます。交歓会は花水木の会員であれば誰でも参加できます。同好会の会員である必要はありません。町内会等での日頃の練習成果をご披露して頂ければと思います。また、これまでにグラウンド・ゴルフを全くしたことが無い方でも、同好会（毎週火曜日10時から鹿子公園で練習しています）で2・3回練習して頂ければ、臆すること無く参加し、プレーを楽しむことができると思います。

開催要領

- ① 日 時：10月18日（水） 10：30 集合 15：00 解散 雨天中止（延期は無し）
- ② 場 所：庄内緑地公園（陸上競技場）
鶴舞線庄内緑地公園駅2番出口（競技場まで徒歩5分）
- ③ 申 込：8月25日迄に木下へ（090-1095-6411 できればショートメールで）
- ④ 参加費：300円（途中お会い出来ない方は交歓会当日に徴収します。なお、雨天中止を除き参加費の返金はありません。）
- ⑤ その他：・交歓会資料は10月3, 10, 17日の同好会練習日に配布。
・弁当と飲み物は持参



第21回グラウンド・ゴルフ交歓会参加者→

「長生き健康体操」と「防災マメ知識講座」へのお誘い



参加費無料 申し込み不要 ドリンク1杯プレゼント

開催日

- 8月22日（火）
- 9月12日（火） 軽い運動が出来る服装で
- 10月10日（火） お出かけください
- 11月14日（火）
- 12月12日（火）

会場：トヨタモビリティゲート中京・吹上店
地下鉄「吹上駅」7番出口から北へ徒歩3分
「千種小劇場」のすぐ北です（千種区千種3-6-2）

時間：10時～12時 10：00～10：40 健康体操 1回参加すると5～10歳若返ります
10：45～11：15 防災講座 日頃から自宅で出来る防災対策
その後自由

主催 トヨタモビリティ中京 **協力** 災害ボランティアちくさネットワーク
東海テレビ 千種区社会福祉協議会

問合せ先 花水木 広報委員長 大澤之夫 ☎090-3307-1160

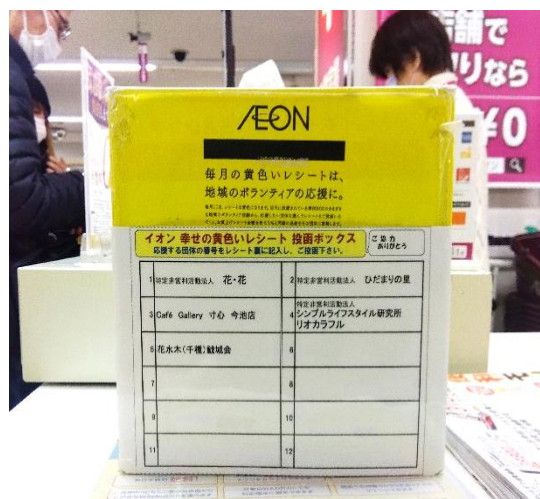
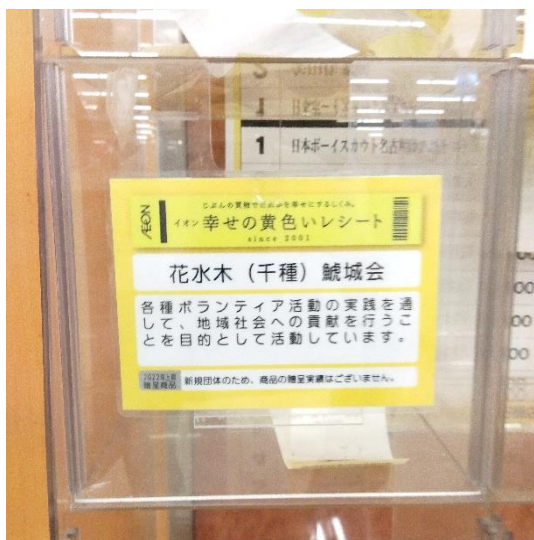
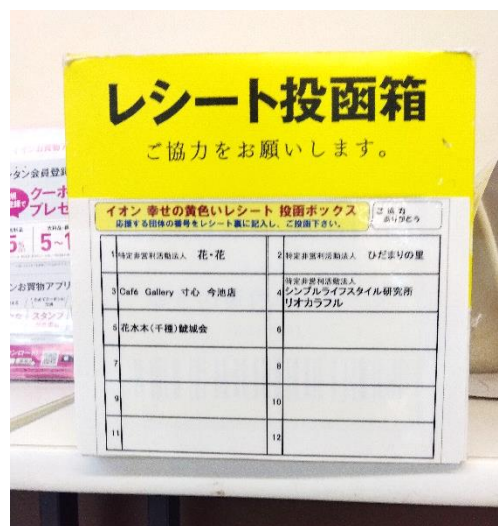
「イオン・幸せの黄色いレシートキャンペーン」の取り組みについて

会長 小松 憲次 (32期 美術)

延べ人員数 **2,219 人**は何の数字でしょうか。名古屋市高年大学鯉城会が発表した「令和4年度(2022)花水木鯉城会のボランティア活動参加人員数」です。デイサービス・コーヒースalon・公園清掃・千種区社協・児童館 etc、花水木鯉城会会員の皆さん一人一人の活動成果の合計です。

さて「イオン・幸せの黄色いレシートキャンペーン」は、イオン全従業員が地域社会貢献活動を行う「イオン・デー」に実施。イオングループでは毎月11日にレシートの色を黄色に変えており、買い物客はその黄色いレシートを、事前に登録されたボランティア団体等のうち応援したい団体のBOX（レジ付近等に設置されている）に投函します。投函されたレシートの合計金額のうち1%に相当する商品が各団体へ寄贈されます。花水木(千種)鯉城会は登録団体として正式に承認されました。イオングループの23年2月期の年商は9兆円超の過去最高を記録。流通業界トップ企業の社会貢献に関する理念と花水木鯉城会の活動実績が合致します。イオン幹部との面談を経て花水木鯉城会の活動内容に深い理解を頂き今回の取り組みとなりました。

私たちの活動はレシート金額の大小ではなく、広くあらゆる機会に花水木鯉城会を知って頂く事。そしてそれが会員208名全員の遣り甲斐であり誇りであり目指すところです。**毎月11日**には多くの方にレシートを投函頂けることは本当に有難い事です。尚、花水木鯉城会が団体登録しているイオングループ店舗は「イオン今池店」と「マックスバリュ砂田橋店」です。イオン・デーにはご協力の程宜しくお願い致します。



レシートはこのBOXに入れてください

社会奉仕活動近況報告

社会奉仕委員長
樫澤一也 (31期 生活B)



■ 清掃活動 4 連発

こうして並べてみると結構あちらこちらをきれいにしていきますね。清掃活動はボランティア活動の基本ですものね。新会員の皆様も積極的に参加され、ますます強力な清掃体制が整いました。

その 1：ご近所クリーンキャンペーン

5月2日、富士見台会館周辺を清掃しました。近所のおじさんに「いつもあんた達がやってくれてたのかね。ありがと」と褒められました。

その 2：クリーンキャンペーン名古屋・2023

6月3日に行われ、当会から25名が参加しました。末盛通二交差点を起点に、西・北・南方向に分かれ、歩道を清掃しました。新会員がイベントデビューしました。

その 3：鶴舞公園クリーンキャンペーン

6月17日、鶴舞公園をお掃除してきました。21名が参加しました。在校生と共同作業でしたが、千種区の学生さんかどうかかわからず、今一つ打ち解けられませんでした。

その 4：公園清掃新人研修

6月担当の千種台地域会メンバーに混ざって、新会員に公園清掃の何たるかを実習してもらいました。新会員さん、清掃後のコーヒー・ミーティングはいかがでしたか？



クリーンキャンペーン名古屋・2023



ご近所クリーンキャンペーン



鶴舞公園クリーンキャンペーン



新会員の皆さんが大勢参加してくれました

左：茶屋ヶ坂公園 右：鹿子公園

■ 児童館ボランティア 2 連発

その 1：ちびっこ工作

4月27日、今年度最初の工作イベントが行なわれました。紙コップの上でコアラ帽のチビさんがクルクル回るというオモチャ作りです。比較的易しい工作だったので、講師としてボロを出さずに済みました。



その 2：七夕かざり工作

7月2日、子供たちと5種類の七夕かざりを作りました。中でも分銅の反作用で織姫・彦星が回るオモチャは、「こんな楽しい七夕かざりは初めてです」と大好評でした。



■ デイサービスの支援

ご承知の通り、たくさんの当会員が千種社協でデイサービスのお手伝いをしています。呈茶、ドライヤーがけ等午前中のサービスが終わった後、午後から利用者さんに楽しんでいただくボランティア活動を行なっている会員がいます。



右の写真は大澤広報委員長所属のウクレレ演奏グループ“グー・チョコキ・パー”によるアトラクションです。懐かしいメロデーは過去を思い出し、脳が活性化する効果があるとのことで、利用者さんに大変評判が良いようです。また、29期生の長谷川さんはアコーディオンのソロで多彩なレパートリーを披露してくださり、同様に喜ばれています。

お二人の演奏は、コーヒーサロンの場で私たちが聞かせていただけます。

今年の「コーヒーサロンサークル」

代表 脇所 耐 (29期 生活B)

これまでの経由



十数年前から当時の花水木鯨城会会員及び千種区社会福祉協議会のご協力により、主として千種区在宅サービスセンターの通所者を中心とした方への「淹れたてのコーヒー」を提供するシステムとして発足しました。

今までの最も大きな出来事は、コーヒーを淹れる「マシン」が壊れた事でした。…………… これは、「コーヒーサロン」にとっては、一大ピンチの事件となりました。

早速、スタッフの代表者7名(当時)にて検討に入り、思い切って「新マシン」を購入し、且つ新しい組織運営を行う事で一步前進する事となりました。

サロンのスタッフと、社協の吉岡次長様ならびに担当者の加納様のご参加のもと、何度も検討を重ね、社協から「名古屋市・区社会福祉協議会では、高齢者や障害者、子育て中の親子、地域住民などが集まることのできる『サロン形式』を開設すれば、その運営費用の一部を助成する制度がある」旨を指導いただき、早速申請致しました。この制度を簡単に説明致しますと①参加対象者は、名古屋市内在住者他、上記の通りです。②実施回数は定期的に月2回以上 ③助成額は、参加人数5人以上は月2000円、15人以上は月6000円となっていました。これらの助成金は、マシンの修理または購入に使用する事を主としています。一方、運営にあたりコーヒー、フレッシュ、砂糖、紙コップ、ファンネル、1.8Lデカンタ、その他諸物品費用は、参加されましたお客様より、「1杯50円」の徴収により賄う事と致しました。なお、新組織のメンバーは(敬称略)代表：脇所耐、会計：片山麗子、監査：小川貞之、代表幹事：片山敦久、幹事：小松憲次、二宮敏夫、樫沢一也、樋口和子、榎澤征子です。新しい組織で運営してきましたが、その間、「コロナ禍」に翻弄され「中止」「再開」を繰り返してきました。



今年からの新しい活動

今年に入り、しばらく落ち着きがみえ、それに合わせて、ハーモニカ同好会の山本氏(23期)、後藤氏(29期)が新メンバーとして加入され、毎回ハーモニカの演奏を行い、また、メンバーの一員である大澤氏(32期)のウクレレ及びギターによる3人演奏で来客者との合唱にて賑やかさが一層増してまいりました。それに加え、花水木鯨城会の新設「ハーモニカ同好会」(7名)が3月16日の「コーヒーサロン日」に初出演し、数曲の演奏で楽しい雰囲気を得ることが出来ました。そして更に、長谷川氏(29期)のアコーディオン



演奏を、4月3日開催の「コーヒーサロン日」に披露して頂き十数曲の昔懐かしい唱歌を演奏し、参加者全員で合唱するという楽しい時間を過ごす日事ことができました。この様に日を重ねるたびに「コーヒーサロン」の充実さが増してくるようになってまいりました。

その他、「本山生協」の案内板に「コーヒーサロン」の紹介チラシを添付していただき、そのチラシを拝見して来ていただいたお客様もチラホラ見受けられるようになってきました。又、先般、町内会長様を訪問して「コーヒーサロン」のPRをお願いして参りました。今後は楽しみです。このように催し物は充実してまいりました。あとはいかに多くのお客様ご来場いただけるか、目先の課題となっております。

花水木鯉城会の皆様、お友達をお誘いの上、是非「美味しいコーヒー」のご賞味いただけませんか。お待ちしております。



愉快的マジック



ハーモニカ同好会による演奏

編集後記

今年度、花水木鯉城会は新入会員を迎え、地域会の活動も非常に活発になりました。地域長さん、幹事の方が新しくなり、全く変わった取り組みで地域の活性化をしていくんだと意気込みを持っておられる地域会が多くなりました。また、新たな計画を進めて会員の皆さんに更に元気になってほしいと願っておられる地域長さんばかりで、花水木鯉城会の今後は楽しみと感じています。今号では、そんな皆さんのパワーを少しでも伝えられたらと、多くの記事を集めました。お伝え出来なかった記事が残っていますので、次号以降で掲載させていただきます。ご期待ください。

なお、投稿 ご意見ありましたら。係までご連絡ください。出来る限り、お答えさせていただきますので、よろしくお願い致します。

広報委員長 大澤 之夫 (32期 陶芸)

連絡先 Tel 090-3307-1160

メールアドレス ikeyuki0726@r3.ucom.ne.jp

広報副委員長 桑原 守 (32期 地域A)

広報委員 葉山 彰 (34期 園芸)

今後の行事

第20回 趣味の作品展

期 日 10月11日(水)～15日(日)

会 場 愛知芸術文化センター12F アートスペースH

第22回 グラウンド・ゴルフ交歓会

期 日 10月18日(水)

会 場 庄内緑地公園

第6回 16区フェスティバル

期 日 11月16日(木)

会 場 東スポーツセンター

堀川清掃大作戦

期 日 11月18日(土) 予備日11月25日(土)

次号予告

「花水木だより第102号」

封入日 令和5年 10月27日(金)

発行日 令和5年 11月 1日(水)



花水木だより第101号

発行者 名古屋市高年大学
千種区鯉城会
名古屋市高年大学
鯉城学園

発行日 令和5年8月1日(火)

発行責任者 会長 小松 憲次

編集人 広報委員長 大澤 之夫